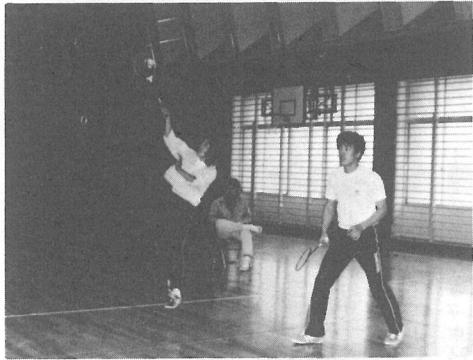


ユニークなチーム名で、熱戦・舌戦・汗びつしより

飛び交うシャトルと大歓声



↑ 豪快なスマッシュがさく裂!

第1回 町民バドミントン大会

4月22日、海洋センターで町民バドミントン大会が開かれました。今年から始まつたこの大会には、親子・夫婦・職場の仲間などで作った8チームが参加。凸凹・カラオケ・ハンサムなど、チーム名もユニークなものが多く、好プレー。珍プレーの入り混じつた熱戦の末、役場チームが優勝を飾りました。

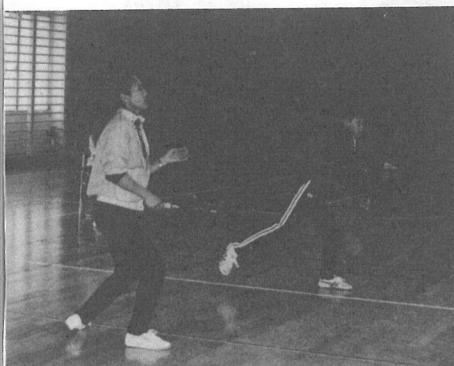


珍しい話題などがある
ありましたら
ぜひ御連絡ください

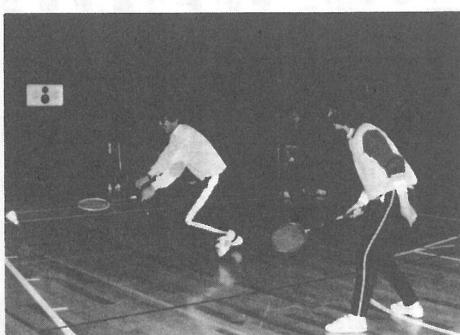
ひろば



やった!
決まったね



↑ この親子ペアは大活躍



↑ おっと間に合うかな?

私のひとこと



盤として活動内容を充実させ、一人でも多くの団員を確保することが任務だと思っています。

青年団は、次代を担う勤労青年が集い、スポーツやレクリエーションを

青年団の皆さん、このような行事に参加してみてください。そして、参考してみることで

青年人の「良さ」や「楽しさ」を知るとともに、多くの人々と接することにより、地域社会への視野が広まり、人間関係が豊かになつて、自分を大きく成長させることができることができるのではないか。

社会人の第一歩

町青年団長 川島 满(北清水西)

町全域へのPR不足、生活環境の変化などによる若者たちの地元離れ、また団員個人個人の団への積極的な参加や、先輩との交流がないなどの問題点があげられます。このような問題点を一つでも乗り越えて、今年度を基

ます。ヨ・ロ・シ・ク!



青年団では、若いファイトのある「力」を求めてい

が、年々新入団員の減少などで、団員の確保が難しくなっているのが現在の青年団です。

このように、地域社会への視野が広まり、人間関係が豊かになつて、自分を大きく成長させることができることができるのではないか。